

2024年度 北見藤高等学校シラバス

【教科】 【科目】	【(国語科)【古典探究】	2年	2単位	教科書	標準古典探究(第一学習者)	副教材等	体系古典文法(数研出版)	履修対象・使用教室等	2年(選択)特別教室2
教科・科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。								
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。			言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。			
評価方法	*単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、【A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況】とする。 *単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価資料・評価比重 (100点換算)	評価資料等		予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	単元テスト・課題		単元ごと			40	60	25	
	提出物		おおむね授業ごと			60	40	25	
	ふりかえり		授業ごと					50	
	(観点別配分%)		(3観点の比重を%で示しています)						
月進行(計画)	【単元名】 学習項目名	配当時間(計画)	学習内容・目標(到達点) など			主な評価資料		評価の重み付け(◎○)	
4 5	「竹取物語」 「伊勢物語」 言語活動「竹取の翁と姫」	12	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。			単元テスト・課題 提出物 ふりかえり	○ ◎ ○	◎ ○ ○	○ ◎
6 7	「十訓抄」 「古今著聞集」	12	・古典を読むために必要な文語のきまりや、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 ・書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。			単元テスト・課題 提出物 ふりかえり	○ ◎ ○	◎ ○ ○	○ ◎
8 9	「徒然草」 「方丈記」	10	・古典を読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解する。 ・鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。			単元テスト・課題 提出物 ふりかえり	○ ◎ ○	◎ ○ ○	○ ◎
10 11	「助長」 「嬰逆鏡」 「画竜点睛」 「推敲」 「朝三暮四」	16	・本文を読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解する。 ・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解する。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。			単元テスト・課題 提出物 ふりかえり	○ ◎ ○	◎ ○ ○	○ ◎
12 1	漢詩	12	・漢詩に表れている言葉の書きやリズム、修辞などの表現の特色について理解する。 ・漢詩に表れているものの見方、感じ方、考え方を理解し、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。			単元テスト・課題 提出物 ふりかえり	○ ◎ ○	◎ ○ ○	○ ◎
2 3	1年間のまとめ	8	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。			単元テスト・課題 提出物 ふりかえり	○ ◎ ○	◎ ○ ○	○ ◎
学習のアドバイス	・まずは興味をもつことから始めましょう。昔の人の考えや文化に触れる機会は今後なかなかありません。 ・国立大学や私立の文系大学を受験する人は勉強必須です。がんばりましょう。								